【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和6年1月11日(2024.1.11)

【公開番号】特開2021-135295(P2021-135295A)
【公開日】令和3年9月13日(2021.9.13)
【年通号数】公開・登録公報2021-043
【出願番号】特願2021-24172(P2021-24172)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ 35/02(2006.01)
Ｇ０１Ｎ 35/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ 35/02 Ｇ
Ｇ０１Ｎ 35/04 Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和5年12月27日(2023.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の反応容器を保持する反応ディスクと、
前記反応ディスクの第１の位置で停止している前記反応容器にサンプルを吐出するサンプル分注プローブと、
前記第１の位置で停止している前記反応容器に第１試薬を吐出する第１の試薬分注プローブと、
前記反応ディスクを所定の回動角度で回動させることにより、前記反応ディスクの前記第１の位置で停止している前記反応容器を第２の位置まで移動させる制御部と、
前記第２の位置で停止している前記反応容器に第２試薬を吐出する第２の試薬分注プローブと
を具備する、自動分析装置。
【請求項２】
前記反応ディスクを前記所定の回動角度で回動させる周期のうちの一周内において、
前記サンプル分注プローブは、前記第１の位置で停止している前記反応容器にサンプルを吐出し、
前記第１の試薬分注プローブは、前記第１の位置で停止している前記反応容器に第１試薬を吐出する、
請求項１に記載の自動分析装置。
【請求項３】
前記制御部は、前記反応ディスクが一周する間に、前記第１の位置で停止している前記反応容器を前記第２の位置まで移動させる、
請求項１または請求項２に記載の自動分析装置。
【請求項４】
前記反応ディスクは、１サイクルごとに回転および停止を行うものであり、
前記サンプル分注プローブおよび前記第１の試薬分注プローブは、１サイクルの間の停止期間中に、前記サンプルおよび前記第１試薬の分注を行う、
請求項１から請求項３までのいずれか一項に記載の自動分析装置。

【請求項５】
前記反応ディスクよりも上方に配置され、前記第２の試薬分注プローブを有する試薬カートリッジを保持する試薬庫
を更に具備し、
前記制御部は、前記第２の試薬分注プローブの吐出口に相当する前記試薬カートリッジの吐出口を前記第２の位置へ移動させる、
請求項１から請求項４までのいずれか一項に記載の自動分析装置。
【請求項６】
前記試薬庫は、前記試薬カートリッジの配列方向に移動可能な可動試薬庫と、交換用の試薬カートリッジを保持する固定試薬庫とを有し、
前記制御部は、前記可動試薬庫の試薬カートリッジと、前記固定試薬庫の試薬カートリッジとを交換させる、
請求項５に記載の自動分析装置。
【請求項７】
複数の反応容器を保持する反応ディスクと、
前記反応ディスクを所定の回動角度で回動させることにより、前記反応ディスクの第１の位置で停止している前記反応容器を第２の位置まで移動させる制御部と、
前記第１の位置で停止している前記反応容器にサンプルを吐出するサンプル分注プローブと、
前記反応ディスクよりも上方に配置され、前記第２の位置で停止している前記反応容器に第１試薬を吐出する分注ノズルを有する分注機能付き試薬カートリッジを複数保持する試薬庫と
を具備する、自動分析装置。
【請求項８】
前記制御部は、前記反応ディスクの第２の位置で停止している前記反応容器を第３の位置まで移動させ、
前記第３の位置で停止している前記反応容器に前記第１試薬とは異なる第２試薬を吐出する試薬分注プローブ
を更に具備する、請求項７に記載の自動分析装置。
【請求項９】
前記反応ディスクを前記所定の回動角度で回動させる周期のうちの一周内において、
前記サンプル分注プローブは、前記第１の位置で停止している前記反応容器にサンプルを吐出し、
前記分注ノズルは、前記第２の位置で停止している前記反応容器に第１試薬を吐出し、
前記試薬分注プローブは、前記第３の位置で停止している前記反応容器に第２試薬を吐出する、
請求項８に記載の自動分析装置。
【請求項１０】
前記試薬庫は、前記試薬カートリッジの配列方向に移動可能な可動試薬庫と、交換用の試薬カートリッジを保持する固定試薬庫とを有し、
前記制御部は、前記可動試薬庫の試薬カートリッジと、前記固定試薬庫の試薬カートリッジとを交換させる、
請求項７から請求項９までのいずれか一項に記載の自動分析装置。
【請求項１１】
複数の反応容器を保持する反応ディスクと、
前記反応ディスクの第１の位置で停止している前記反応容器にサンプルを吐出するサンプル分注プローブと、
試薬分注ノズルを備えた試薬ボトルを複数保持する試薬庫と、
前記試薬ボトルの配列方向に任意の試薬ボトルを移動させ、前記任意の試薬ボトルの試薬分注ノズルを前記反応容器の上方に移動する移動機構と、

試薬分注ノズルから前記反応容器に試薬を分注するように、前記試薬分注ノズルによる試薬の分注を制御する分注制御手段と
を具備する、自動分析装置。
【請求項１２】
複数の試薬容器を円環状に配列して保持する回転試薬庫と、
前記回転試薬庫が保持する試薬容器から試薬を吸引し、前記試薬容器に吐出する試薬分注プローブと
を更に具備する、請求項１１に記載の自動分析装置。
【請求項１３】
前記反応ディスクを所定の回動角度で回動させることにより、前記反応ディスクの前記第１の位置で停止している前記反応容器を第２の位置まで移動させる制御部と
を更に具備し、
前記試薬分注ノズルおよび前記試薬分注プローブは、前記第２の位置で停止している前記反応容器に分注可能である、
請求項１２に記載の自動分析装置。
【請求項１４】
前記反応ディスクを前記所定の回動角度で回動させる周期のうちの一周内において、
前記サンプル分注プローブは、前記第１の位置で停止している前記反応容器にサンプルを吐出し、
前記試薬分注ノズルまたは前記試薬分注プローブは、前記第２の位置で停止している前記反応容器に試薬を吐出する、
請求項１３に記載の自動分析装置。
【請求項１５】
前記反応ディスクを所定の回動角度で回動させることにより、前記反応ディスクの前記第１の位置で停止している前記反応容器を第２の位置まで移動させる制御部
を更に具備し、
前記分注制御手段は、前記第２の位置で停止している前記反応容器に前記試薬を吐出する、
請求項１１に記載の自動分析装置。